| 学校番号 | 3010 |
|---|---|

令和5年度 工業（インテリアデザイン） 科

| 教科 | 工業 | 科目 | インテリア計画 | 単位数 | 1 単位 | 年次 | 1 年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | インテリア計画（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 新しい建築の製図（学芸出版社） 超図解で全部わかるインテリアデザイン入門（株式会社エクスナレッジ） | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

| |
|---|
| １年生のインテリア計画では科目の目標を踏まえ、(1) インテリア計画の概要 (2) インテリアの造形と心理 (3) インテリアの環境 (4)インテリアと人間工学 (5) 規模計画と寸法計画 (6) インテリアエレメント (7) 各種空間の計画の７つの項目についての基礎を学びます。 |
| 履修条件 |
| なし |

2 学習の到達目標

| |
|---|
| ・インテリア計画では建築物などの内部空間をつくるにあたっての設計条件や考え方を整理できる。<br>・工業生産と相互に関連付けて考察できるようにする。<br>・基礎的な図面の読み方を理解し、住空間の計画を中心に、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、・建築物などの内部空間をつくるにあたっての設計条件や考え方を整理しインテリアにおける空間に興味関心をもち、主体的に取り組む。 |

3 評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a：知識・技術 | b：思考・判断・表現 | c：主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | インテリア計画について住生活や工業生産を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 | インテリア計画に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決することができる。 | インテリアを計画する力の向上をめざして自ら学び、インテリア産業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | インテリア計画の概要 | ・インテリア計画の概要<br>・インテリアの歴史<br>・インテリアの造形と心理<br>・縮尺と空間寸法 | a：インテリアの形態、色彩及びテクスチャー、人間工学について人体と人体寸法、姿勢と動作及びインテリアと住空間を踏まえた空間における行動特性を理解している。<br>b：生活の変化や豊かで快適なインテリア空間に着目し、インテリアと人間工学に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。<br>c：インテリアと人間工学について自ら学び、インテリア産業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 | 学習状況の観察<br>プリント<br>レポート<br>テスト<br>発表<br>自己評価・相互評価<br>等 | 学習状況の観察<br>プリント<br>レポート<br>テスト<br>発表<br>自己評価・相互評価<br>等 | 学習状況の観察<br>プリント<br>レポート<br>テスト<br>発表<br>自己評価・相互評価<br>等 |
| 2 | インテリアの環境 | ・人間の感覚と造形の知覚<br>・形態、色彩、テクスチャー<br>・空間認知と空間行動<br>・インテリアと人間工学<br>・人体と人体寸法<br>・インテリアと三面図 | a：インテリアの形態、色彩及びテクスチャー、人間工学について人体と人体寸法、姿勢と動作及びインテリアと住空間を踏まえた空間における行動特性を理解している。<br>b：生活の変化や豊かで快適なインテリア空間に着目し、インテリアと人間工学に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。<br>c：インテリアと人間工学について自ら学び、インテリア産業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 | 学習状況の観察<br>プリント<br>レポート<br>テスト<br>発表<br>自己評価・相互評価<br>等 | 学習状況の観察<br>プリント<br>レポート<br>テスト<br>発表<br>自己評価・相互評価<br>等 | 学習状況の観察<br>プリント<br>レポート<br>テスト<br>発表<br>自己評価・相互評価<br>等 |
| 3 | インテリアと住空間 | ・姿勢と動作<br>・家具と設備の機能寸法<br>・インテリアと住空間<br>・インテリアと透視図 | a：インテリアの形態、色彩及びテクスチャー、人間工学について人体と人体寸法、姿勢と動作及びインテリアと住空間を踏まえた空間における行動特性を理解している。<br>b：生活の変化や豊かで快適なインテリア空間に着目し、インテリアと人間工学に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。<br>c：インテリアと人間工学について自ら学び、インテリア産業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 | 学習状況の観察<br>プリント<br>レポート<br>テスト<br>発表<br>自己評価・相互評価<br>等 | 学習状況の観察<br>プリント<br>レポート<br>テスト<br>発表<br>自己評価・相互評価<br>等 | 学習状況の観察<br>プリント<br>レポート<br>テスト<br>発表<br>自己評価・相互評価<br>等 |

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度